

ひばりの通信

第3号 H17.2月発行

発行：宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17番2号

TEL.0225-95-6271

FAX0225-95-6273

新年を迎えて



皆様方には今年もよい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は当事務所としても激動の一年であったと思います。

いわゆる国際船舶・港湾保安法に基づく保安措置の強化に加え、水際対策・危機管理体制の強化を図るための各委員会設立と運営、更には、年度内に港湾計画改訂を行うという重要目標を何とか達成することが出来ました。

宮城県港湾ビジョンである「“とうほく・みやぎ”の暮らしを支える“みなとづくり”を目指す」という理念達成の使命を果たすことが出来たと心から喜び感謝している次第です。

今後、石巻港の整備は新計画に移るわけですが、今年度には - 13m第2バースの完成、それに伴う泊地航路浚渫整備を終え、平成17年度に供用開始の運びとなっており、新たに北側に - 10m岸壁が完成する予定です。また、港湾利用者が待ち望んでいた構内静穏度についても目標の稼働率が達成される見込みです。

今回の港湾計画の改定により、石巻港の更なる発展に弾みがつくものと期待されており、本県「最後の開発拠点・工業港」として整備が地域経済の発展と同時に雇用改善の一助となることを確信しております。今年も職員一同力を合わせ頑張りますので、皆様の更なる御協力、御支援を御願い致します。

年度初めに際し、今年の思いについて述べさせて頂きたいと思います。

第1に、港湾計画の改定を行いました。今後この計画が地域の中に定着するよう基本方針等について各方面への説明・宣伝に力を入れたいと考えています。

第2に、経済が回復基調にあると言われておりますが、依然として石巻地域の回復が遅れている状況にあります。また、港湾事業費の削減が進む中、港湾の着実な総合的な整備を図るためには、土木部が目指す宮城型ストックマネジメント及びゼロ予算等の取り組みを強化したいと考えます。

予算・財源、地域との対応などの様々な制約下で仕事を行うためには、部長の言葉である「どれだけ作るかではなく、如何に活用するか」との視点もこれまで以上に必要となります。そのための専門的知識や技術は勿論、幅広い知識の習得、経験の積み重ねが必要と感じております。次年度から当事務所の事業予算も、制度上の問題とはいえ、事業の執行計画に確実に減少することが予定されているこの時期にこそ職員の企画力を含めたより一層資質向上のための取り組みを強化したいと考えています。

第3に、高い確率で予想されている大規模地震に対する対応方だと考えます。

土木部としても大きなテーマとして「大規模地震対策としての危機管理について真剣に検討し対応する」としており当事務所においても真剣に対応することとします。

平成16年度に業務目標として情報収集から安全点検までを含めた「地震対策マニュアル」を作成することにしました。平成17年度は全災害対応に広げ、順次完成度を高めて行きたいと考えています。このための努力を職員一同と共に頑張りたいと思います。

以上、新しい年に当たり、当事務所の課題方向についていくつか申し述べました。

今後とも港湾行政の推進に関しまして皆様の一層の御支援と御協力を御願ひいたしたいと思っております。今年も皆様方にとりまして希望に満ちた発展の年となりますよう心より御祈念いたします。

宮城県石巻港湾事務所長

新潟県中越地震の災害復旧支援 派遣体験記

平成16年11月29日から12月15日の17日間、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震で被災した魚沼市（旧堀之内町、旧守門村）の公共土木施設の道路災害の現地調査と道路台帳図面から災害復旧平面図の作成を行ってきました。被災後約1ヶ月が経過したことから、宮城県が担当した20箇所は、ほとんどが生活道路であることから除雪作業に支障とならないようにと、応急仮工事にて舗装復旧が完了していました。この時期、平年では1～2mの積雪があるそうですが、派遣中、雪は降らなかったのが幸いし、連日直営で現地調査（横断測量、写真撮影）を行っていました。

補足、毎日調査で10kmは歩き、足腰が鍛えられました。（派遣職員は体力が一番だと実感しました。）

工務班 澁谷



災害復旧事業の申請のため道路の被災状況を調査しました。



測量結果をもとに設計作業に取り組む各県からの派遣職員

仙台・塩釜・石巻港テロ対策合同訓練

去る1月25日（火）に仙台塩釜港にて仙台塩釜港各港区保安委員会、石巻港保安委員会共催により、合同訓練を実施しました。訓練は、各港湾の関係行政機関及び関係団体の国際テロに対する危機意識を共有し、各団体の連携を図り、隙間のない国際テロ対策を推進し、その強い姿勢を内外に示すことを目的として開催されました。

会場は、仙台区フェリーふ頭岸壁にて、国際テロリストがカーフェリーを乗っ取るとの想定で岸壁訓練を、また港内にてテロの小型船舶を追走する洋上訓練を実施しました。当日は、ヘリコプターや巡視船が配備され、また機動隊によるテロリストの制圧も実施され緊張したものになりました。

石巻港からは、一部の関係者による視察参加となりましたが、今後、石巻港においても訓練に取り組んでいきます。

また、石巻港では岸壁に不審者を発見したとの想定で、石巻港独自の訓練を実施しました。

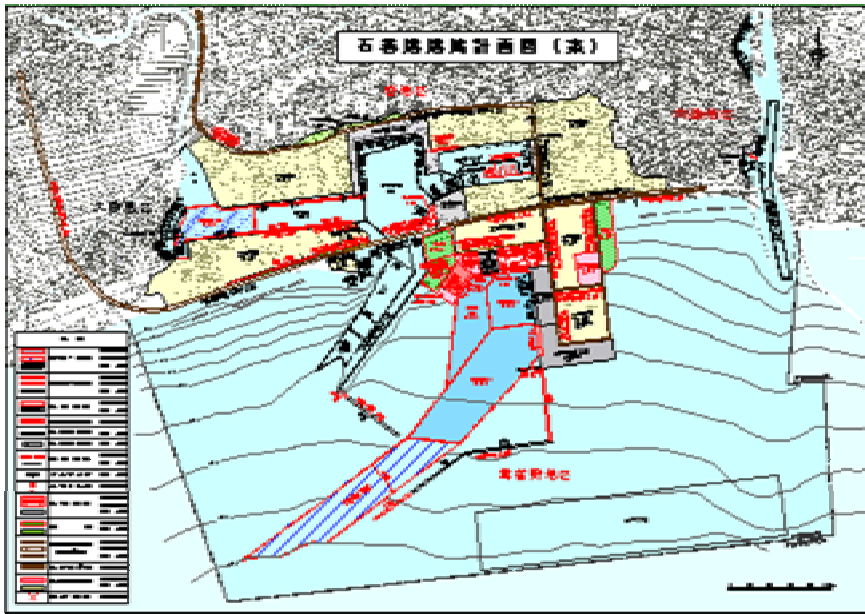


逃げるテロの小型船舶を制圧するヘリコプター(仙台港)



フェリーに逃げ込んだテロリストを制圧しようとする様子(仙台港)

第3回みなとづくり懇談会開催



今回の港湾計画改訂のポイント

- 1 企業ヒアリングに基づく適正な貨物量への見直し
- 2 売却可能な土地造成計画への見直し
- 3 港内の静穏度を向上するための岸壁の配置及び外郭防波堤等の検討
- 4 段階的な整備計画の位置付け
- 5 大規模地震への早期の対応
- 6 広域的なりサイクルネットワークへの対応
- 7 放置プレジャーボートへの早期の対応

平成 17 年 1 月 12 日 (水)に石巻港の将来計画について地元の意見を伺う「石巻港みなとづくり懇談会」を開催しました。

今回の懇談会では、これまでに各委員から出された石巻港への要請や課題を元に作成した石巻港港湾計画素案を示して御意見を伺いました。特にプレジャーボート収容施設の計画に関しては「現在の計画位置については再考する必要があるのではないか」、「計画する上で、周辺の立地企業等と協議が必要である」といった意見があり、これらを含む地域住民や利用者の声を港湾計画改訂の作業を行っている「石巻港長期構想整備委員会」に報告しました。

「“みなと”が百貨店にやってきた！」パネル展を開催

平成 16 年 12 月 22～26 日にさくら野百貨店石巻店で石巻港に関するパネルなどを展示するパネル展を国土交通省塩釜港湾・空港整備事務所との共催で開催しました。

今回のパネル展は、普段、石巻港と接する機会の少ない一般の方々にもなどの役割、活動、石巻港が石巻市に貢献する指標などをグラフで示し楽しみながら理解を深めてもらうことを目的として開催しました。

会場では石巻港に関する写真や石巻港の海底粘土から作られた陶芸品などを展示し、23 日には海底粘土を使った陶芸教室も開催されました。



工事、計画の説明パネルや昔の写真を展示し、多くの方で賑わいました。



海底粘土を使った陶芸教室では七つ森陶芸体験館副館長の指導を受けながら作成しました。

石巻港入港船隻数の実績(H16月別速報値)

平成16年 入港船隻数

(単位:隻)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
外航	48	50	62	50	67	48	50	47	44	59	43	40	608	107%
内航	546	470	479	445	454	414	538	545	561	638	554	544	6,188	97%
計	594	520	541	495	521	462	588	592	605	697	597	584	6,796	98%

外航船:外国航路を航行する船
内航船:内国航路を航行する船

隻数は前年度比で減っていますが、取扱貨物量はここ数年 500 万 t 前後で横ばい傾向となっています。



港湾施設パトロール

当所では港湾施設のパトロールを地震、津波、台風、波浪等が発生した時のほかに、年間を通して定期的の実施し、岸壁、防波堤、臨港道路などの維持管理に努めております。石巻港で何かお気づきのことがございましたらお気軽に当所までお知らせ下さい。



港湾施設をパトロールし異常箇所の把握に努めています。

県産品使用計画について

【記載例】

宮城県産品等使用計画書(実施計画書)
平成22年 05月 00日

工事番号・工事名	第2次 00000-001号 石巻港 000番埠工事
施工地区	石巻市 扇形埠頭 埠内
工期	平成20年 05月 00日 ~ 平成22年 05月 00日
請負者名	〇〇建設(株) 代表取締役 〇〇太郎

品名	単位	単価	数量	金額	備考
宮城県産 砕石	m ³	60	10	600	5人×10日
宮城県産 砕石	m ³	10	10	100	5人×4日
宮城県産 砕石	m ³	300	10	3000	5人×10日
宮城県産 砕石	m ³	30	10	300	5人×10日
宮城県産 砕石	m ³	20	10	200	5人×10日

県内の経済状態が低迷している状況を踏まえて、当事務所が施行する工事については、県内雇用の状況を直接的に把握するため、試行として「宮城県産品等使用計画書」を提出していただくこととしました。これは県産品の使用状況を把握するとともに、使用努力の範囲内で県産品の使用を推進していくことを目的としたものです。

工事請負者の皆様には、県内雇用状況等をお尋ねする場合がありますので、その節はよろしくお願いたします。

問い合わせ先 宮城県石巻港湾事務所
〒986-0845 石巻市中島町 17 番 2 号
TEL0225-95-6271
FAX0225-95-6273
E-mail iskown@pref.miyagi.jp

当所のホームページでも、いろいろな情報を掲載しておりますので、是非そちらもご覧ください。
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/is-kouwan/>